

安城市DX推進計画2.0 進捗状況の公表

基本方針	主要施策	主要施策の説明	推進スケジュール・概要				令和6年度実績の詳細	令和7年度実績の詳細	令和8年度実績の詳細	令和9年度実績の詳細
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
方針1 LINEを達成したスマートな行政サービスと活用支援	(1) SNSの利活用	誰もが必要な情報までアクセスしやすく、利用しやすい行政サービスの展開を図るため、市公式LINE等の効果的な活用方法を検討するとともに、多くの方に活用してもらうため、友だち登録者数の増加に向けて啓発を実施する。 【KPI】 R5: 17,534人 → R9: 120,000人	市公式LINEの友だち登録者数増加に向けた施策検討 市公式LINEを使用したサービスの実装			市公式LINE友だち登録者数(3月末時点): 171,072人 市公式LINEからの国際課職員及び指導員への通知実装 市公式LINEからのFabSpace利用予約の実装 市公式LINEからの児童扶養手当相談予約の実装 市公式LINEから確定申告相談予約の実装	市公式LINEからの国際課職員及び指導員への通知実装 市公式LINEからのファミサポ依頼予約の実装 市公式LINEとあんJYOウーボンとの連携実装 市公式LINEとオンライン申請ページとの連携実装 市公式LINEとあんじようマップとの連携実装			
	(2) オンライン手続の拡充	オンラインで24時間365日いつでも手続ができる業務を検討し、拡充を図る。	申請数や効果の高さと考えられる手続の把握 オンライン化によるスケジュールの確立			令和6年度末時点で90件のオンライン手続を実施 各課業務でのオンライン予約システム導入の検討	令和7年度末時点で134件のオンライン手続を実施 オンライン手続拡充に向けた作業部会実施 オンラインで申請可能な手続きを申請目的にまとめたサイトを市公式ウェブサイトへ公開 市公式LINEとオンライン申請ページとの連携実装【再掲】			
	(3) 窓口DXの推進	書かない窓口・リモート窓口・混雑状況の見える化を充実させ、窓口のDX化を推進する。	書かない窓口、リモート窓口等の利用状況や市民ニーズの検討 ワンストップ窓口導入の検討			書かない窓口: 1,302人 リモート窓口: 36人 市公式LINEからの児童扶養手当相談予約の実装【再掲】 市公式LINEから確定申告相談予約の実装【再掲】	書かない窓口: 1,843人 リモート窓口: 30人 本庁舎総合案内へのコンビニ交付対応導入検討			
	(4) キャッシュレス決済の拡充	公共施設等でのキャッシュレス決済を推進する。	公共施設でのキャッシュレス決済導入 キャッシュレス決済の拡充検討			【令和6年10月】24拠点キャッシュレス決済導入 へきしんギャラクシープラザ 地区公民館、青少年の家 富野アトリウム、スポーツセンター アンフォーレ(証明、旅券窓口センター舎) 市民課、総合斎苑、3支所 安城駅西駐車場(東棟)管理事務所 建設課 【令和7年度新規導入検討】 休日夜間診療所 福祉センター	【令和7年10月】9拠点キャッシュレス決済導入 休日夜間診療所 福祉センター 【令和8年度新規導入検討】 クリーンセンター 建設事務所 環境都市推進課			
	(5) デジタルデバイドの解消	デジタルに不慣れな人が安心してデジタル機器が活用できる支援を実施する。	スマホ講座、相談会の実施 スマホ活用ブックの作成、利用			7月～3月にスマホ講座を開催 参加: 延べ1,205人 会場: 各福祉センター デジタル活用ブックの作成、配布	7月～3月にスマホ講座を開催 参加: 延べ1,108人 会場: 各福祉センター等 10月及び3月にスマホ相談会を開催 参加: 延べ56人 会場: 総合福祉センター 他 ※安城警察署と連携した安全安心にスマートフォンを利用するための啓発実施			
方針2 デジタルを基とした地域活性化と未来に向けた基盤づくり	(1) オープンデータ化の拡充	本市の保有データのオープンデータを拡充し、民間や行政自らによるオープンデータの利活用を推進する。 【KPI】 R5: 54件 → R9: 100件	オープンデータの拡充する項目の検討 オープンデータの利活用実装の把握 及びデータ更新			16件の新規オープンデータの公開 サイバーポート一覧、指定文化財一覧、埋蔵文化センター観覧者数、収蔵品点数等 ※公開済オープンデータ: 79件 DX推進リーダー向けオープンデータ研修の実施	13件の新規オープンデータの公開 地籍図レイヤー、路線価データ、当初予算(歳入・歳出)、クーリングシミュレーター等 ※公開済オープンデータ: 92件 DX推進リーダー向けオープンデータ研修の実施			
	(2) 産学官連携の取組推進	民間企業や行政、学校などが連携し、デジタルを生かした取組を推進する。	産学官連携のによる実証的な取組の推進			「デジタル人材育成推進事業」eフェスNEXT2024 1月11日(土)アンフォーレ開催	「デジタル人材育成推進事業」eフェスNEXT2025 2026年1月12日(祝)らぽーと開催 ※公開型GISの周知・紹介			
	(3) データ連携基盤の構築	民間や行政が所有する様々なデータがつながる基盤を構築し、新たなサービス創出に向けた検討を推進する。	A1カメラを活用したデータ収集及び分析 データを連携するための基盤構築の推進			アンフォーレでのA1カメラを活用したデータ収集及び分析の実証実験	データ分析ツール活用による施策活用の検討			
	(4) 各分野でのデジタル活用推進	子育て、福祉、まちづくり、商工業、農業等各分野でのDX取組を推進する。	各分野でのDXへの取組支援			電子契約導入に向けた検討 中小企業のデジタル化支援の実施(ものづくりデジタル支援事業)	電子契約の導入 中小企業のデジタル化支援の実施(ものづくりデジタル支援事業) 市民相談事業でのオンライン相談導入検討			
	(5) 次世代のデジタル教育の充実	授業内容に合わせたタブレット端末の有効活用に関する環境を整備する。	学習支援システムを利用し、授業での活用や持ち帰り学習を実施。			教職員向けのIT関係の研修の実施(ネットモラル研修、ICT活用研修等) タブレット端末での活用事例の共有 ICT支援員の配置	教職員向けのIT関係の研修の実施(ネットモラル研修、ICT活用研修等) タブレット端末での活用事例の共有 ICT支援員の配置 スクールライフノートを導入し、子どもの心の健康を視覚化			
方針3 庁内DXによる業務効率化とデジタル人材育成	(1) AI・RPAの利活用拡大	AI・RPAでの利活用拡大を支援し、業務効率化を推進する。	業務の見直しを含めRPA適用業務の拡大			【RPA】 新規で15件のRPAを構築 全体で1,442時間の業務削減 【AI-OCR】 全体で1,749時間の業務削減 【生成AI】 生成AIの活用による業務改善プロジェクトの実施(研修、ワークショップ、伴走支援)	【RPA】 新規で5件のRPAを構築 全体で2,180時間の業務削減 【AI-OCR】 全体で1,449時間の業務削減 【生成AI】 DX推進リーダー向け生成AI研修の実施 階級別研修の実施 生活保護業務及び議会答弁書作成業務への活用開始 新たな生成AIツール(GaiXer)導入			
	(2) 住民向けシステムの標準化	国が指定する20業務について、国が作成した標準仕様書に適合するシステムへの移行を進める。	業務システムをガバナンスクラウド上に構築			標準仕様書に準拠したシステムへの改修について、2業務が完了 現行システムと標準仕様書との比較分析	20業務中12業務のシステムについて移行を完了 残り8業務システムについて特定移行支援システムとして、令和8年度中の完了を目指す			
	(3) デジタル環境整備とEPMの推進	クラウドサービスの利用に適したデジタル環境整備を進めるとともに、データを活用しやすい環境のもと、EPMを推進する。	EPM研修の実施 クラウドサービスを活用しやすいデジタル環境の整備			主要職員向けのEPM研修の実施(参加: 29名) BIツール研修の実施	主要職員向けのEPM研修の実施(参加: 20名)			
	(4) 職員のITリテラシー向上	職員全員がDXの重要性や価値、考え方を理解し、ITリテラシーが向上する取組を推進する。 【KPI】 R5: 42% → R9: 80%	デジタル人材育成方針の策定 DX推進リーダーを中心としたセミナーや研修の実施	DX推進リーダーを中心としたセミナーや研修の実施		安城市デジタル人材育成・確保基本方針の策定 DX推進リーダー向け研修(オープンデータ等)の実施 生成AIの活用による業務改善プロジェクトの実施(研修、ワークショップ、伴走支援)【再掲】 デジタルを活用できている職員の割合: 39%	【安城市デジタル人材育成・確保基本方針】研修 DX推進リーダー向け研修の実施 ※生成AI、Excel、DX意識醸成・オープンデータ、BPR、セキュリティ 階級別研修の実施 ※部長・課長級、課長補佐・係長級、主査・主事級 全職員向けの研修実施 ※DXマインド、データ活用、セキュリティ、デジタルツールに備える知識 デジタルを活用できている職員の割合: 73%			
	(5) 外部人材の活用	幅広い分野で外部人材を有効活用し、デジタル環境の向上や、職員のマインドセット向上を推進する。	DX推進アドバイザーの意見交換会の実施 民間事業者によるDX支援業務委託の実施			DX推進アドバイザーとの意見交換会の実施 生成AIの活用による業務改善プロジェクトの実施(研修、ワークショップ、伴走支援)【再掲】	DX推進アドバイザーとの意見交換会の実施			